

東京都認知症疾患医療センター職員研修 実施状況(平成27年度～令和元年度)

テーマ	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度							
	第1回	第2回	第1回	第2回	-		-		基礎編		応用編					
認知症疾患医療センター相談業務全般	各エリアの活動報告と相談業務の基本		アウトリーチチームと初期集中支援チーム		若年性認知症		認知症のアセスメント		繋がり		認知症相談の基礎		企画力			
午前	(講義) 東京都認知症疾患医療センターの役割と医療相談室への期待 45分	(講義) 地域拠点型認知症疾患医療センターの取り組みと歩み 40分	(講義) 認知症アウトリーチチームと初期集中支援チームの機能 15分	(講義) 若年性認知症の治療と特徴 60分	(講義) 認知症のアセスメントについてDASCの使い方 40分	(講義) 「認知症とともに生きる」を考える 80分	(講義) 神経心理学における認知症アセスメントについて 50分	(講義) 認知症カフェから考える相談員としてのアセスメント 20分	(グループワーク) 講義を受けて 30分	-	-	(講義) プロジェクトの創造の仕方と育て方 ～事例:みまもりあいプロジェクト(全国50万DL/2年間+コスト0の実現方法)～ 120分				
	(グループワーク) 認知症疾患医療センターの役割、相談室は何をすべきか 60分	(グループワーク) 平成27年度を振り返り、何ができて何ができなかったか 70分	(講義) 地域包括ケアシステムにおける、認知症アウトリーチチーム、初期集中支援チームの役割及びDASCについて 60分	(講義) 東京都若年性認知症総合支援センターの取組みと連携について 50分	(講義) 認知症カフェから考える相談員としてのアセスメント 20分											
午後	(講義) 大阪府及び全国の認知症疾患医療センターの取組み及び今後求められる相談員の役割について 90分	(講義) 認知症相談支援の概要～もう一度一緒に復習しましょう～【関連情報・制度・面接技術・記録など】 90分	(講義) 北多摩南部における認知症アウトリーチチームの取組みについて 30分	(講義) 医療機関における若年性認知症の人への支援～ソーシャルワーカーの視点から～ 60分	選択①(グループワーク) 事例検討:尿臭による住民苦情、病識のない介入拒否の独居高齢者への解決まで 30分	選択②(グループワーク) 事例検討:血友病治療が必要な認知症患者(老々介護と障害をもつ子供)他機関との連携事例 80分	(アイスブレイク) 自己表現と受容を促す協働エクササイズ 130分	(グループワーク) 事例検討ロールプレイ 60分	(講義) 我が国における認知症疾患医療センターの動向について 20分	(グループワーク) クライエントのニーズを企画に繋げるグループワーク 130分						
			(講義) 認知症支援コーディネーター及び認知症地域支援推進員の役割について～葛飾区の取り組みを通じて～ 60分													選択③(講義) 認知症疾患医療センター相談員がおさえておきたい福祉制度や社会資源の基礎 60分
	(グループワーク) 相談員のスキルアップについてどう課題を解決していくか 60分	(グループワーク) それぞれのエリアにおける認知症支援の課題と解決策について 90分	(事例検討) 引きこもりの息子と同居する認知症高齢者の事例 140分	(事例検討) 若年性認知症の事例 170分	選択④(グループワーク) 事例検討:認知症を抱える高齢夫婦世帯への支援 真のニーズを汲み取る 60分	選択⑤(講義・演習) “本人の意思の尊重”について一緒に考えよう! 80分	(グループワーク) 認知症疾患医療センターの活動報告及びグループワーク 60分	(グループワーク) 事例をもとに、認知症疾患医療センター職員としてどのような対応や支援をするかを考える 70分		(グループワーク) 情報交換 50分						
満足度	95%		99%		93%		95%		97%		95%		92%		100%	